様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	福井工業大学
設置者名	学校法人　金井学園

１.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名		夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
				全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
工学部	電気電子工学科	電気システムコース	夜 ・ 通信	14	0	18	32	13	
		電子情報コース				18	32	13	
	機械工学科	機械システムコース	夜 ・ 通信			6	20	13	
		自動車システムコース				8	22	13	
	建築土木工学科	建築コース	夜 ・ 通信			28	42	13	
		土木コース				28	42	13	
	原子力技術応用工学科	原子力工学コース	夜 ・ 通信			14	28	13	
		放射線応用コース				14	28	13	
環境情報学部	環境食品応用化学科	環境化学コース	夜 ・ 通信		0	16	30	13	
		食品バイオコース				16	30	13	
	経営情報学科	経営システムコース	夜 ・ 通信			14	28	13	
		政策システムコース				14	28	13	
		情報システムコース				16	30	13	
	デザイン学科	都市デザインコース	夜 ・ 通信			41	55	13	
		メディアデザインコース				41	55	13	
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	スポーツ産業コース	夜 ・ 通信		0	16	30	13	
		地域スポーツ指導者コース				16	30	13	

（備考）2020 年度より、環境・食品科学科から「環境食品応用化学科」と学科名が変更となっております。

２.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ「大学等における修学の支援に関する情報公開」にて公開 （http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/shinsyugakushien/　） ※工学部電気電子工学科の「人工知能」・「ソフトウェア工学」の講義につきましては、2020 年度のカリキュラム変更により、2022 年度開講となるため 2022 年度シラバスの作成予定となります。（添付書類①実務経験のある教員による授業科目の配置一覧参照）

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	福井工業大学
設置者名	学校法人　金井学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

金井学園ホームページ（http://www.kanaigakuen.jp/organization/）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	無職	2018 年 8 月 8 日 ～ 2022 年 8 月 7 日	私学業界経験者として経営・財務のあり方の指南
非常勤	税理士	2020 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 8 月 7 日	社会情勢に応じた経営・財務の在り方の指南
非常勤	弁護士	2018 年 8 月 8 日 ～ 2022 年 8 月 7 日	社会通念的な学校経営・運営の指南
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福井工業大学
設置者名	学校法人　金井学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） シラバス作成の過程は次のとおりである。 ①　開講前年度中に、教務委員会が教員向けの「シラバスの作成の手引き」を作成し配布する。 ②　開講年度に授業を担当する全教員は、その手引きにしたがって、年間の学修計画、必要な準備学修（予習・復習）、課題（レポートや試験等）のフィードバックの方法、学修到達目標、成績評価基準および評価方法、ディプロマ・ポリシーや他の科目との関連、ナンバリング、実務家教員の担当の有無をシラバスに明示する。 ③　シラバス作成後、学務部長からの依頼に基づいて、学科主任等がシラバスの記載内容、誤字脱字および学修体系等について点検を行い、不備があればシラバス作成教員に差し戻す。 ④　その指摘に基づいて、シシラバス作成教員がシラバスを修正し、シラバスの作成が完了する。 このようにして作成したシラバスは、インターネット上で閲覧することができるように、各年度開始時に本学ホームページに公表している。	
授業計画書の公表方法	本学ホームページの大学紹介＞教育情報の公表＞シラバスにて閲覧が可能。（http://www.fukui-ut.ac.jp/syllabus/）
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 各科目の単位授与は、福井工業大学学則第 12 条及び学習規程第 7 条関係で定めており、試験・レポート等で認定する。100 点を満点として 60 点以上が所定単位を修得したものとする。合格した科目は秀（90 以上）優（80 以上）良（70 以上）可（60 以上）の 4 種類で表し、不合格の場合は不可（60 未満）で表す。 さらに、学生の学修成果の評価および単位授与について、各授業レベル（シラバス）において「学習到達目標」に対する達成度をどのように測るかを明示している。具体的には、①評価種別（小テスト・レポート・試験などの評価方法）および ②割合（複数の評価方法を用いて成績評価を行う場合に、それぞれの評価方法が全体に及ぼす割合）を記載した上で、成績評価基準を明記している。 また、全学科において卒業年次に行う卒業論文発表では、ディプロマ・ポリシーに対応させて整備したルーブリックを用いて卒業研究の成果を評価するとともに、在学中の学修成果についても評価を行っている。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 成績評価の指標として、全学部・学科でＧＰＡ制度を導入し、履修指導や奨学生の採用基準として活用している。算出方法は、（在籍中に履修した科目の Grade Point×単位数の和）を（在籍中に受講登録した科目の単位数の和）で割り算出している。［Grade Point : 評点 100-90 = 4 point, 89-80 = 3 point，79-70 = 2 point，69-60 = 1 point，59 以下 = 0 point］ 各学生個々のＧＰＡは成績通知書に掲載し、学生本人以外にも保護者や指導教員が確認できるようにしている。加えて、学生本人は学生ポータルサイトで随時確認が可能である。ＧＰＡ制度の概要については、本学ＨＰ＞教育情報の公表にて公表している。 成績（ＧＰＡ）の分布状況については別添の参考資料のとおり。 （添付資料：学部単位でのＧＰＡの分布状況：現在作成中）	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本学ホームページの大学紹介＞教育情報の公表＞学修の成果・卒業認定＞評価方法にて閲覧が可能。（http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/result/ ）
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 学部・学科単位で卒業の要件及びディプロマ・ポリシーを定め公表している。 卒業の要件は、以下のとおり。（福井工業大学　学則　第 13 条） 工学部　教養分野　52 単位以上　専門分野　72 単位以上 環境情報学部　教養分野　48 単位以上　専門分野　76 単位以上 スポーツ健康科学部　教養分野　48 単位以上　専門分野　72 単位以上 合計 124 単位以上を修得。 いずれも本学に 4 年以上在学し、所定の単位を修得した者に卒業を認める。 卒業判定においては、事務局学務課にて作成した判定資料を教務委員会及び各学科の主任教授が確認した後、学長、副学長、学長補佐、学務部長、事務局長で構成される大学の最高意思決定機関である大学運営協議会で審議され、基準を満たしている場合に卒業と判定される。その判定結果については、学校教育法第 93 条に基づき、学長が教授会に意見を求めた後、学長が卒業者を決定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本学ホームページの大学紹介＞教育情報の公表＞学修の成果･卒業認定＞ディプロマ・ポリシーにて閲覧が可能。（http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/result/）

様式第２号の４－①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	福井工業大学
設置者名	学校法人　金井学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kanaigakuen.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kanaigakuen.jp/financial/
財産目録	http://www.kanaigakuen.jp/financial/
事業報告書	http://www.kanaigakuen.jp/financial/
監事による監査報告（書）	http://www.kanaigakuen.jp/financial/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　　　）
公表方法：金井学園ホームページ（http://www.kanaigakuen.jp/plan/）	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：福井工業大学ホームページ
http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/evaluation/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：福井工業大学ホームページ
http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/evaluation/

３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　工学部、環境情報学部、スポーツ健康科学部
教育研究上の目的（公表方法:福井工業大学ホームページ http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/purpose/）
（概要）学校法人金井学園が設置する福井工業大学は、本学園建学の精神に基づいて、質実剛健な気風と愛国心の寛容に努め、人格円満にして徳性の高い社会人を育成するとともに、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、高い教養と工学に関する高度な専門知識・技術を身につけた人材を養成することと使命とし、教育研究活動を通して地域社会に寄与するとともに広く人類社会の福祉に貢献することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：福井工業大学ホームページ http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/result/）
（概要）工学部は、国際・地域社会で活躍する健全な人格を身に付けた実践的な技術者を育成し、社会に送りだすことを通して、社会の発展と繁栄に寄与することを目的としています。環境情報学部は、環境と情報の世紀にふさわしい新たな価値観を生み出すことのできる豊かな創造性と人間性を兼ね備えた人材を育成し、社会に送り出すことを通して、社会の発展と繁栄に寄与することを目的としています。スポーツ健康科学部は、国内外のスポーツ及び健康関連分野で活躍する豊かな創造性と人間性を兼ね備えた指導者・スタッフを育成し、社会に送り出すことを通して、社会の発展と繁栄に寄与することを目的としています。この人材育成のための教養分野と専門分野とを体系化した学士課程の教育の中で、各分野における科目の学習到達目標を達成して卒業要件を充足し、ＤＰ１からＤＰ５の資質・能力を身に付けた者に卒業を認定し、学士の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：福井工業大学ホームページ http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/policies/）
（概要）各学科のディプロマ・ポリシーに掲げた学修目標と人材育成を達成するために、教養分野及び専門分野から成る体系的なカリキュラムを構築しています。教養分野では豊かな人間性と社会性を育むための幅広い知識と教養を身に付け、工学部の専門分野では社会を取り巻く諸問題を論理的な思考力と総合的な判断力で解決するための工学の専門知識・技術、環境情報学部の専門分野では環境と情報に関する今日の諸課題と論理的な思考力と総合的な判断力で解決するための専門知識、技術、スポーツ健康科学部の専門分野では、スポーツと健康に関する諸課題を論理的な思考力と総合的な判断力で解決ｓるための専門知識・技術を修得します。学修の順次性や体系性に従って１年次から４年次まで配当された教養分野科目及び専門分野科目の中から、各科目とディプロマ・ポリシーとの関連性を可視化したカリキュラム･ツリー等を基に学生自らが学修計画を立てて科目を履修し、単位を修得してディプロマ・ポリシーで定めた資質・能力を身に付けます。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：福井工業大学ホームページ http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/policies/）
（概要）学校法人金井学園の「建学の精神」及び本学の「教育方針」に則り、学部・学科のディプロマ・ポリシーに定めた学修目標と人材育成を達成できる潜在的な能力を有した学生を求めて学科毎にアドミッション・ポリシーを定めています。この方針にふさわしい人材を受け入れるために総合型選抜、一般選抜、学校推薦型選抜等の複数の選抜方式をとっています。これらの選択によって多様な学生を受け入れ、本学の特色ある教育研究を通して、持続可能な社会の発展に主体的かつ能動的に貢献することのできる豊かな人間性と創造性及び高い倫理観を兼ね備えた人材を育成します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：福井工業大学ホームページ http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/system/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	２人	－					２人
工学部	－	２９人	７人	２人	１人	０人	３９人
環境情報学部	－	１９人	６人	３人	０人	０人	２８人
ｽﾎﾟｰﾂ健康科学部	－	７人	４人	３人	０人	０人	１４人
教養部	－	２人	２人	５人	７人	０人	１６人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
０人	７６人	７６人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：福井工業大学ホームページ http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/cooperate/researcher/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

教職員説明会、新任教員のための研修会、ＦＤ研修会、授業公開、オフィスアワー、授業評価アンケート等の実施

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
工学部	250 人	305 人	122.0%	1,000 人	1,169 人	116.9%	若干人	0 人
環境情報学部	180 人	213 人	118.3%	720 人	834 人	115.8%	若干人	0 人
スポーツ　健康科学部	70 人	87 人	124.3%	280 人	323 人	115.4%	若干人	0 人
合計	500 人	605 人	121.0%	2,000 人	2,326 人	116.3%	若干人	0 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
工学部	275 人 (100%)	7 人 (2.5%)	259 人 (94.2%)	9 人 (3.3%)
環境情報学部	187 人 (100%)	7 人 (3.7%)	166 人 (88.8%)	14 人 (7.5%)
スポーツ健康科学部	80 人 (100%)	1 人 (1.3%)	77 人 (96.3%)	2 人 (2.5%)
合計	542 人 (100%)	15 人 (2.8%)	502 人 (92.6%)	25 人 (4.6%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	295 人（100%）	260 人（ 88.1%）	12 人（ 4.1%）	23 人（ 7.8%）	人（ %）
環境情報学部	226 人（100%）	184 人（ 81.4%）	19 人（ 8.4%）	23 人（ 10.2%）	人（ %）
スポーツ健康科学部	86 人（100%）	75 人（ 87.2%）	4 人（ 4.7%）	7 人（ 8.1%）	人（ %）
合計	607 人（100%）	519 人（ 85.5%）	35 人（ 5.8%）	53 人（ 8.7%）	人（ %）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）年間の授業計画、必要な準備学修（予習・復習）課題（レポートや試験等）のフィードバックの方法、学修到達目標の明示、成績評価基準および評価方法、ＤＰや他の科目との関連、ナンバリング、実務経験のある教員が担当する科目について、シラバスにて学生に明示している。シラバスの公表は、各年度開始時にインターネット上でシラバスを閲覧することができる。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）各科目の単位授与は、福井工業大学学則第 12 条及び学習規程第 7 条関係で定めており試験・レポート等で認定する。100 点を満点として 60 点以上が所定単位を修得したものとする。さらに合格した科目は秀（90 以上）優（80 以上）良（70 以上）可（60 以上）の 4 種類で表し、不合格の場合は不可（60 未満）で表す。さらに学生の学修成果の評価および単位授与について、各授業レベル（シラバス）において「学習到達目標」に対する達成度をどのように測るかを明示している。具体的には、①評価種別(小テスト・レポート・試験などの評価方法)②割合（複数の評価方法を用いて成績評価をおこなう場合に、それぞれの評価方法が全体に及ぼす割合）を明示、加えて成績評価基準を明示している。また全学科において卒業学年には卒業論文発表を行い、在学中の学修成果の評価を行っている。卒業論文発表の評価においてはルーブリックを各学科において整備し評価を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
工学部	電気電子工学科	124 単位	㊒・無	48 単位
	機械工学科	124 単位	㊒・無	48 単位
	建築土木工学科	124 単位	㊒・無	48 単位
	原子力技術応用工学科	124 単位	㊒・無	48 単位
環境情報学部	環境食品応用化学科	124 単位	㊒・無	48 単位
	経営情報学科	124 単位	㊒・無	48 単位
	デザイン学科	124 単位	㊒・無	48 単位
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	124 単位	㊒・無	48 単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法：			
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法：			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：福井工業大学ホームページ http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/campus/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
工学部	電気電子工学科	930,000円	250,000円	350,000円	設備充実費、実験実習費、厚生衛生費
	機械工学科	930,000円	250,000円	350,000円	設備充実費、実験実習費、厚生衛生費
	建築土木工学科	930,000円	250,000円	350,000円	設備充実費、実験実習費、厚生衛生費
	原子力技術応用工学科	930,000円	250,000円	350,000円	設備充実費、実験実習費、厚生衛生費
環境情報学部	環境食品応用化学科	930,000円	250,000円	350,000円	設備充実費、実験実習費、厚生衛生費
	経営情報学科	930,000円	250,000円	350,000円	設備充実費、実験実習費、厚生衛生費
	デザイン学科	930,000円	250,000円	350,000円	設備充実費、実験実習費、厚生衛生費
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	880,000円	250,000円	370,000円	設備充実費、実験実習費、厚生衛生費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 学生の理解度に応じた習熟度別クラス編成の導入や学習支援室を設置し、補完教育を実施している。その他担当教員制度を取り入れ卒業に向けた修学指導を行っている。障害のある学生への修学支援も取り組んでおり合理的配慮の提供を行っている。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 就職支援プログラムでは、入学直後から内定まで、就職セミナー・就職ガイダンス・学内企業合同研究会など、様々な取り組みを実施している。また、各学科の教員と就職支援課学科担当職員が一丸となって、学生の進路選択をサポートしている。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 学生の心身の健康等に関する支援として、医務室と学生生活支援室がある。医務室では主に身体的な疾患の処置や相談、保健指導や学生の健康管理を行っている。学生生活支援室では、カウンセラー等による学生の相談への対応、フリースペースの運営、障害を有する学生の修学支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：福井工業大学ホームページ http://www.fukui-ut.ac.jp/ut/introduction/public/